ゆかた着装を含むきもの文化に関する学習効果

生活・技術系教育講座　1年　大矢幸江

1．研究の背景

2006年 教育基本法改正
伝統文化の継承と尊重

↓

学習指導要領の改訂 技術・家庭科
和服の基本的着装を扱うこともできる

↓

- 伝統的な衣生活文化に関わる教育内容の検討
- 効果的な授業方法の検討

2．研究の目的

①伝統文化を尊重する態度の育成に効果的な授業の構築と検証

②教員側の意識の現状を探り、きもの文化を学ばせる意義についての検討

ゆかた着装の授業実践(H25,H26,H27実施)

着つけの示範

着装実習

たたみ方示範と実習

3-1．これまでの研究成果（H26年までの調査結果）

着装を扱う授業は浸透していない

教師や環境の現状把握

教員
- きもの文化への興味関心
- 知識・技能面の自信
- 家庭科の内容としての意義を感じるか

環境
- ゆかた、アシスタント不足

教員研修

レンタル利用

導入意欲向上

授業内容の工夫

校種による比較(中学校３校、高校２校)

事前の経験 興味・関心

着装授業

中高ともに高まる

きもの文化への興味・関心

中学 ×

高校 ○

きもの文化の理解・習得

授業提案

中学生 体験的内容を重視

高校生 発展的内容,発表等

3-2．現在取り組んでいる研究課題（H27年の調査経過）

興味が低い男子生徒への着装授業の効果

きもの文化興味関心うすい → 着装授業 → 授業前後アンケート 夏休み後アンケート 生徒、教員インタビュー

? 男子生徒への興味関心を喚起する効果

? 伝統文化を尊重する気持ちへの寄与

校種による比較(中学校、高校)

他分野につながる指導案検討

きものの繰り回しから環境配慮授業の検討

授業実践プログラムの開発